



あ、自分にもできる（親近感）活動があるかもしれない（興味・関心）参加してみよう（行動）  
そんな会員向け通信を目指しています。



## 地域デザイン事業部の今 ～事業部長の岡田さんに聞く～

地域デザイン本部が 2 年目を迎えている。本部は地域デザイン事業部（以下、事業部）と地域デザイン総合研究所からなるが、今回は事業部の活動について岡田知之さんに聞いた。

事業部は自治体などと連携して地域課題解決への DF らしい貢献を目指し、現在はつくば市、北杜市、相模原市、行方市、出雲市などで活動している。

つくば市では、DF 会員約 20 名が地域デザイン活動のモデル作りを目指し、次の 3 本柱で活動している。

・スマートシティ協議会（官産学で進める「世界のあしたが見えるまち」づくり）\*注）の会員としてシニアの視点から意見を発信

・大学や研究機関発のスタートアップ企業の支援

・大学、研究機関、企業の OB などシニア人材の活動機会拡大支援

人口減少を抱える日本の多くの自治体でも、振興支援につくば市での経験が活かせる可能性が高く、事業部の経験値は上がってきている。

「ご関心のある方は岡田までお声がけください」とのことです。

談：岡田知之（1302）

\* 編集部注記（一社）つくばスマートシティ協議会 <https://tsukubasmartcity.jp/ja/>



**【問】** 1 年半で具体的な道筋が見えてきました。大変だったところは？

自治体や関係者との信頼構築に時間がかかるところです。信頼がないと前に進めません。

【問】 活動の楽しいところは？

どの自治体も課題が山積しているなかで、その解決に少しでも貢献できることに楽しみを感じます。

【問】 これからの展開に期待しているところは？

会員の皆さんに、できるところから参加してもらいたいです。小さな個人の行動が大きな変化を生む「ハチドリの一としづく」\*の精神です。

編集部注記 \*「ハチドリの一としづく」 森火事に一滴ずつ水を運ぶハチドリに対して、森から逃げた動物たちは「そんなことして何になるのだ」と笑います。ハチドリは「私は、私にできることをしているだけ」と 答えました。小さな個人の行動が大きな変化を生むという例え。

【問】 これからどのように DF 会員を巻き込んでいきますか？

地域デザイン本部の具体的なプロジェクトを皆さんに知っていただく機会を増やしていきます。「地域デザイン通信」も活用していきたいと思います。

【問】 会員個人の地域での活動について考えをお聞かせください。

牧野本部長の著書 \*にもあるように、DF 会員が小さなコミュニティで活躍できる機会がもっとあるはずで。そのような個人の活動も応援していきたいと思っています。

編集部注記 \*「ちいさな社会」を愉しく生きる 出版社 さくら舎 2024/12/5

【問】 地域デザイン活動に DF は組織としてどう対応していくべきだと思いますか？

これまでの活動を通じ、地域の課題解決には教育支援本部、企業支援本部や部会・研究会との連携が必要になると強く感じています。一層のご協力をお願いいたします。

## ◆ ◆ 私の推し街 連載 ◆ ◆



### 薩摩隼人の情熱と 明治維新の源「磯御殿」

山之内憲夫（791）

薩摩生まれの私のお薦めは、鹿児島市街地の北にある、旧薩摩藩主島津家の別邸「磯御殿」（正式名：仙巖園）です。

その庭園は、桜島を築山に、錦江湾を池に見立てて作られたと言われています。現在は、庭園と錦江湾

の間に JR 日豊線と国道 10 号線が走っているため、庭園としての一体感は薄いのですが、御殿の座敷から庭園を眺めると、その発想のスケールの大きさと「桜島山 心に秘めて 薩摩隼人の血は熱い」と詠われる薩摩人の心に燃える「情熱の源」を感じることができます。

この庭園に併設された「集成館」は、製鉄やガラス製造などの薩摩藩近代化事業の中心地として、薩摩藩の軍事・経済基盤の発展に大いに寄与し、明治維新の原動力を生み出す源になりました。



この近代化事業とそれに込められた薩摩独特の発想のスケール、桜島に秘められた情熱が、島津斉彬や西郷隆盛を生み、倒幕、明治維新への流れとなったことが薩摩隼人の誇りです。

仙巖園と桜島 Adobe Stock から

## 《私の推し街 大阪府・三重県・兵庫県・和歌山県のお国自慢 大募集！》

地域デザイン通信では、会員の皆様の「心の中のふるさと」自慢を掲載しています。生まれた場所、かつて住んだ場所、思い出の地など、是非ご自身の思いをお寄せください。自薦・他薦を問いません。関西以外でもピン留めのない県の寄稿を募集中

= 要綱 =

- ・本文 400 字以内
- ・タイトル
- ・写真、又は絵 1 枚

詳細は編集部までお問い合わせください



## 《イベントのお知らせ&報告》

- ・6月4日(木) 13:00~14:30 DFスタジオ
- 「フレイル予防とまちづくりに関する仕組みづくり」と題し、意見交換会を開催します。

興味のある方は編集部までご連絡ください。

・「清里高原まちづくりプロジェクト」の発足

地域デザイン本部と観光立国研究会共同でプロジェクトチームを立ち上げました。清里高原（北杜市）には自然、気候、山岳風景、文化など多くの魅力的な資産があります。住民や外の人々にとっても快適なまちづくり構想を年内をめどに取りまとめます。

**問い合わせ先**：ご意見、感想、お問合せなど下記までお寄せください。お待ちしております

[dfchiiki-tsushin@directforce.org](mailto:dfchiiki-tsushin@directforce.org)

編集部：小島千代美・松瀬高志・宮武里美・岡田知之

（編集後記）地域デザインの具体的な姿が見えてきました。地域デザイン通信でも、DF 会員が個人や事業部で地域に取り組む姿を具体的にお伝えし、読者の皆さんと繋いでいく役目を目指して参ります。

（M）

**地域デザイン通信** バックナンバーはこちら <https://directforce.net/regional-design/> ページの一番下までスクロールしてください。